

事業名：中学生国際交流事業

生涯学習課 青少年・スポーツ振興係

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	03 国内・国際交流の推進								
基本事業	03 異文化交流の推進								
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
海外研修交流訪問団									
手段（事務事業の内容、やり方）									
姉妹都市グresham市から中学生と引率教員をホームステイとして受け入れ、また学校を訪問してもらう等して米国の文化に直接触れる機会を作る。 派遣：（事前研修）グresham市・江別市の概要把握、語学研修、事業報告、事業報告書作成（実地研修）ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、研修交流事業の円滑な運営を行う団体に対し補助金を支出する									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
次代を担う中学生に、姉妹都市交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚を身に付け、国際的視野の醸成と言語をはじめとする日常生活を含んだ異文化理解を深めること、派遣教諭の授業による相互の文化の紹介と理解、体験入学による同世代交流を図り、国際交流についての知識や経験を深めながら、国際問題に対する理解を高める。									

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	研修訪問団構成員数	人	8	8	8	8
対象指標2	グreshamからの訪問数	人	7	9	9	9
活動指標1	補助金額	千円	1,313	1,413	1,064	1,110
活動指標2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	10	9	9	10
成果指標1	交流イベント参加者数	人	1,586	1,212	1,035	1,013
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,672	1,785	1,811	1,896
正職員人件費(B)		千円	2,007	2,004	1,953	1,956
総事業費(A+B)		千円	3,679	3,789	3,764	3,852

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
25年度	【派遣】 事前研修会の開催 実地研修（12月5日～15日 ホームステイ、体験入学、施設見学） 【受入】 実地研修（2月6日～15日 ホームステイ、体験入学、体験学習） 【事業報告書の作成】 ・活動団体等の事業に対し補助金を支出	引率教諭旅費	374千円
		引率支援者旅費	374千円
		交流訪問団への補助金	1,064千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
姉妹都市との交流事業は札幌市がポートランド市との交流を始めたのをきっかけに、地理的条件が類似するグresham市から江別市へ交流の働きかけがあり、平成19年度に30周年を迎えている。	
事業を取り巻く環境変化	
一時中断した交流も平成17年度からの訪問再開を機に派遣並びに負担等を見直し、相互交流を実施。平成25年度までに126名を派遣し、147名の受入を行っている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 グresham市との姉妹都市提携の大枠の中で約束された中学生相互訪問交流事業で、中学生の国際感覚を養う教育目的を持った妥当な事業である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 国際化は地方都市においても身近なものとなっており、事業参加を契機に、豊かな国際感覚や人間性を身に付け、進学や就職時には、国際関係の方面を選択する者も期待できる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 事業の波及効果が団員にとどまらず一般市民等の多方面に相互交流の成果が現れている。ホームステイ受入家庭の確保には課題が残るが、受入家庭の満足度は高い。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 多くの中学生の派遣や受入での交流が可能となれば、これからの社会生活で必須の条件となる国際共通語である英語力の向上に役立ち、将来国際人として江別市への貢献が期待できる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由根拠 平成17年度から引率教諭を1名に削減するなど、既に事業費削減の手段を講じている。また、事業実施にあたりグresham市担当者との連絡調整において、国際交流員の協力により事務時間の効率化が図られている。